

LGBT等に関する鳥取大学の 基本理念と対応について(教職員向け)

ダイバーシティキャンパス基本理念

多様な個性や価値観をもつ人々が集い交流し、新しい価値を創造していくことは、知の拠点たる大学の力の源泉です。

鳥取大学は、『鳥取大学憲章』において、「様々な価値観が交錯するグローバル時代を迎えて、多様な文化や考え方があることを理解し、少数者や厳しい条件下におかれている人々に対する思いやりの心を持ち、社会に対する責任を果たすことを行動の規範とする」としています。

これをキャンパスにおいて体現することが本学におけるダイバーシティ理念の実現であると考えます。本学の全ての構成員が、人権を尊重しながら、ともに学び、働き、多様性を力にしていくことにより、大学の教育研究活動を高め、地域社会や世界に貢献していきます。

活動方針

性別や性自認・性的指向、障がい、様々な国や環境のもとでの生まれや育ちなどによる、多様な個性・価値観を尊重し、お互いの人間性を高めることで、一人一人の生きづらさを解消し、偏見や差別、ハラスメントの無いキャンパスづくりを目指します。

すべての構成員がこの理念と活動方針を理解し、実践することで、自分ならではの力が発揮される創造的なキャンパス環境の実現を目指します。



用語の説明

LGBTとは

LGBTとは、Lesbian(レズビアン)、Gay(ゲイ)、Bisexual(バイセクシュアル)、Transgender(トランスジェンダー)の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者(セクシャルマイノリティ)を表す言葉の一つとして使われることもあります。その他の性的指向や性自認を含む総称として「LGBT等」を使用しています。

性的指向とは

性的指向とは、どのような性別の人を好きになるか、ということです。

■ Lesbian(レズビアン)

女性の同性愛者

(心の性が女性で、恋愛対象も女性)



■ Gay(ゲイ)

男性の同性愛者

(心の性が男性で、恋愛対象も男性)



■ Bisexual(バイセクシュアル)

両性愛者

(恋愛対象が女性にも男性にも向いている)



性自認とは

性自認(性の自己認識)とは、自分の性をどのように認識しているのか、ということです。

「心の性」と言われることもあります。多くの方は「身体の性」と「心の性」が一致していますが「身体の性」と「心の性」が一致せず、自分の身体に違和感を持つ人たちもいます。

■ Transgender(トランスジェンダー)

「身体の性」は男性でも「心の性」は女性というように、「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人。「心の性」にそって生きたいと望む人も多く見られます。(性同一性障害、性別違和は、医学的な診断名であり、トランスジェンダー＝性同一性障害、性別違和ではありません。)

カミングアウトとは

自分がLGBTであることを告白することです。カミングアウトは、自分のセクシュアリティを受け入れ、肯定する過程でもあり、自分らしく生きていくための手段です。

しかし、カミングアウトするかどうかや、いつ、誰に、どのように伝えるかは、当事者本人が決めることであり、周囲の人が、カミングアウトを強要してはいけません。

配慮・対応について

① 本学にも当事者がいることを常に忘れずに対応する

電通ダイバーシティ・ラボが実施した「LGBT調査2018」によると、LGBTに該当する人は8.9%との調査結果が出ており、11人に1人は該当者がいることになります。知らないから『うちにはいない』と考えるのではなく、『必ずいる』ことを認識して対応してください。

- 「まさか、ここにはいないと思いますが」というような、当事者がいないことを前提とした話し方をしない。
- 「男性はA、女性はB」など性別によるグループ分けに気をつける。

② 見た目や氏名で性別を決めつけない

見た目や振る舞いが中性的であることから、「男だろ、男らしくしろ」とか、「女性なんだからお化粧ぐらいしたら」など、見た目(服装、髪型、お化粧など)や氏名で、性別を決めつけた言動をしないでください。

- 「オネエ」「ホモ」「レズ」「オトコオンナ」「アッチ系・ソッチ系」などと発言し、笑いにするようなことをしない。
- ゼミなどの合宿で男女で部屋割をする前に本人が希望を伝えることができるような配慮をする。
- 授業などにおいて、学籍簿の名前や性別と、見た目が違うことを他学生の前で言及しない。

③ 呼び方は共通の敬称を用いる

見た目や氏名(戸籍)で、呼び分けはせず共通の敬称を用いる、あるいは本人の希望にそった敬称を用いるように心がけてください。本人がどう呼ばれたいかを確認する際には、皆の前で聞くのではなく、メール等個別に対応する配慮をお願いします。

- 名前が男性のように思えたからといって、「くん」付けで呼ばれ嫌な思いをする学生がいることを認識しておく。

④ 学生より相談を受けたら、勝手に他者に口外しない

学生よりカミングアウトされた場合、当事者の許可なく話したり、公の情報として扱うことはアウトディングといい、当事者を差別に晒す危険性があるプライバシー侵害行為です。対応について相談する場合は、必ず本人の了解を得たうえで行ってください。

- 学生より当事者であることを相談されても、本人に無断で対応について他の教員に相談しない。
- 学生への対応を協議するため、学生支援センター等の相談窓口と話をする場合には、本人の許可を得た上で行う。

相談窓口

名称	相談内容	対象	連絡先
ダイバーシティキャンパス推進室 (地域学部棟4階)	ジェンダー・セクシュアリティに関すること ワーク・ライフ・バランスに関すること	教職員 学生	月-金(平日) 9:00-16:00 0857-31-5769 diversity@ml.adm.tottori-u.ac.jp
学生支援センター (鳥取キャンパス共通教育A棟2階) (米子キャンパス学務課学生係)	学生相談に関する全て	学生	鳥取キャンパス 月-金(平日) 8:30-17:15 0857-31-5794 st-support@adm.tottori-u.ac.jp 米子キャンパス 月-金(平日) 8:30-17:00 0859-38-7100
保健管理センター 保健管理センター米子分室 (アレスコ棟1階)	心身の健康や悩みに関する相談	教職員 学生	鳥取キャンパス 月-金(平日) 8:30-17:00 0857-31-5065 hokekan@adm.tottori-u.ac.jp 米子キャンパス 月-金(平日) 9:00-17:00 0859-38-6495
ハラスメント相談員	ハラスメントに関すること	教職員 学生	相談受付担当窓口 0857-31-5012 harassment@ml.adm.tottori-u.ac.jp

オールジェンダートイレについて

鳥取キャンパスの広報センター1階と、附属図書館にオールジェンダートイレを設置しています。

この他に多目的トイレを、鳥取キャンパスに24カ所、米子キャンパスには病院に52カ所、学部18カ所、浜坂キャンパスに2カ所設置しています。



LGBT等に関するDVD&書籍貸し出し

LGBT等に関するDVDの視聴や、DVD・書籍の貸し出しをダイバーシティキャンパス推進室にて行っていますのでご利用ください。